

11 生麦第二 地区

1. 地区概況

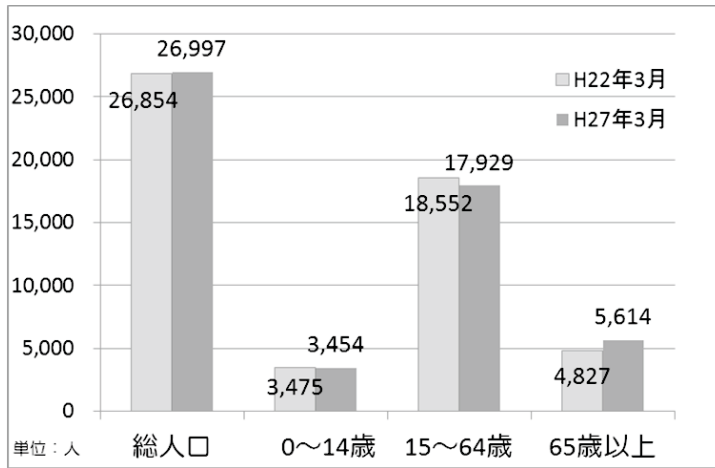
生麦、岸谷、東寺尾の3つの地域、13の自治会町内会からなり、国道と線路が地区を東西に通っています。海側の生麦地域は平坦ですが、山側の岸谷、東寺尾地域は、山坂が多い地形です。

交通手段は、京浜急行や、鶴見、横浜、新子安、菊名方面へ通じるバスがあります。



2. 生麦第二地区の人口（年齢区分別）

	H22年3月 (年齢区分別比率)	H27年3月 (年齢区分別比率)	【参考】H27年3月 (鶴見区全体の年齢区分別比率)
総人口	26,854人 (100.0%)	26,997人 (100.0%)	(100.0%)
0～14歳	3,475人 (12.9%)	3,454人 (12.8%)	(13.3%)
15～64歳	18,552人 (69.1%)	17,929人 (66.4%)	(67.0%)
65歳以上	4,827人 (18.0%)	5,614人 (20.8%)	(19.7%)



- 5年前と比べると、65歳以上の人口と総人口は増えていきます。
- 一方で、0～14歳、15～64歳の人口は減っており、高齢化は進んでいます。

※地区別人口については、集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。 出典「横浜市統計ポータルサイト」

3. 第2期計画



生二(なまに)はみんな元気!! をめざします!!

地域で行われている活動が、より浸透するように、地区フォーラムや色々な活動を通して情報発信をしていきます。

地域で行われている活動が継続するために必要なことや、取り組みを応援していきます。

地域には赤ちゃんから高齢者、障害のある方、病気の方、孤独な方、ちょっとお手伝いが必要な方など、様々です。その方々に地域や関係機関が何ができるのか、どんなことがあったらよいのか、話し合いを含めた活動を、あいねっととして発展させていきます。

4. 第2期計画の主な取組内容（22年度～27年度）

継続する地域活動

健民運動会・社会を明るくする運動・敬老大会・ふれあい防災訪問など伝統的な活動が行われています。



地域で、増々健康づくり！



毎年恒例のウォーキング
認知症サポーター養成講座「生二ひまわり会」「ほほえみボランティア」
「ひざひざワックン体操」の開催
ケアプラザ祭り「笑福東祭」での健康チェックコーナー
いろいろな場所で、健康づくりに前向きに取り組んでいます！

サロン・そくそく誕生

「ほほえみステーション」	ココファン岸谷公園
「ジャンプ岸谷」	岸谷地区集会所
「ひまわりサロン」	東寺尾第二会館
「オレンジカフェ鶴見」	ふれあい鶴見ホスピタル
「なかよしサロン」	池谷戸自治会館

身近な場所で集える場所作り「サロン活動」が広がってきています！！



「生麦第二地区魅力マップ」完成！！

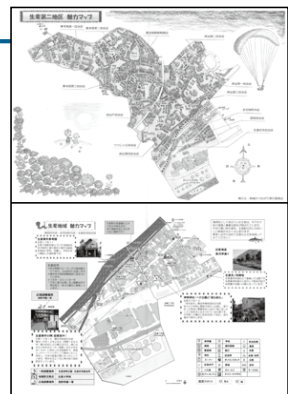


生麦第二地区の特徴や魅力を再発見し、さらに「みんなが安心して暮らせるまち」について自治会長や保健活動推進員等で生麦第二地区の大きなマップをもとに、話し合いを続けてきました（ガリバーマップ会議）。

また、健民運動会やフリーマーケット、笑福東祭などで、ガリバーマップを使って地域住民から情報を集めました。

「地域の魅力や歴史を次世代に継承していきたい」という自治会長達の願いをもとに、「生麦第二地区地域のつながり実行委員会」が発足し、平成27年3月に見事「生麦第二地区魅力マップ」が完成！！生麦第二地区の全戸に配布されました。

さらに、平成27年度は「健康づくりマップ」、平成28年度は「歴史・旧跡マップ」が作成される予定です！！



5. 第3期計画策定に向けて

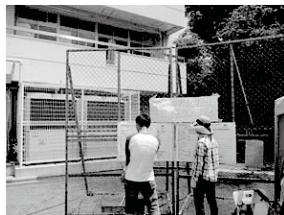
笑福東祭（東寺尾地域ケアプラザでのお祭り）でアンケートやヒアリングを実施

小学生のお子さんからご高齢の方まで、男女ともに幅広い年齢層の方々に「地域がもっと住みやすくなるために何があったらよいか」を、真剣に考えながら回答していただきました。アンケート結果はケアプラザでの掲示や新聞・ブログで報告し、地区別計画策定実行委員会でも報告しました。



生麦第二地区健民運動会でアンケート実施

5月17日の生麦第二地区健民運動会にて第3期計画策定に向けて地域の方にアンケートを実施しました。



「日頃生活していて気になることはなんですか？」という質問に対し、「高齢期の認知症」、「気軽に集まれる居場所」、「災害時のつながり」等が多く寄せられた回答でした。このアンケートの結果をもとに6月21日に実施した地区懇談会（生二夢会議）のテーマを決めました！

生二夢会議を開催

6月21日に岸谷児童館にて参加者48名で生二夢会議を開催しました。

3つのテーマ（健康・子ども・防災）で、5年後こうなってほしいという夢とその夢に近づくための取り組み方法について話し合いました。

会議の中で話し合った内容が第3期計画の骨子となりました。



第3期地区別計画策定実行委員会について

第3期計画の策定に向けて、地区別計画策定実行委員会を結成し地域のことを改めて振り返りました。

委員会の話し合いの中で、

「お祭りなど様々な年代の方々と交流できる機会がある」、

「みんなが安心して生活できるように住民同士で防犯のための見守り活動ができている」、

「自然が多く、街並みがきれい」などの地域のよいところや、

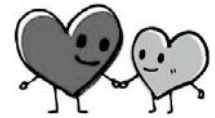
「高齢化が進み、見守りが必要」、「住民同士の挨拶や交流が少ない」などの地域で気になっていること等を共有することができました。



これまでのアンケート調査や住民の皆さんとの懇談会での意見をもとに、実行委員のメンバーで話し合いを行い、生麦第二地区の第3期計画を作りあげてきました。

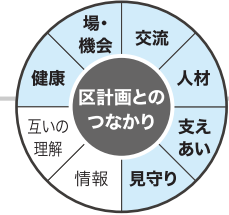
6. 第3期計画策定（28年度～32年度）

明るく 楽しく 元気よく！ みんな「あいさつ」できるまち



目標1

見守りネットワークのある、みんなが元気でつながれるまちづくり



■現状の良いところ・課題

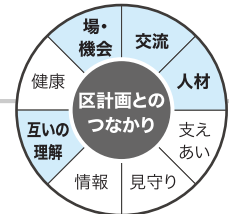
安否確認を行ったり、健康を意識したウォーキングやひざひざワックン体操などにも取り組んでいます。また、最近は元気づくりステーションをはじめ、サロンの立ち上げが活発になってきています。その反面、高齢化が進み地域の行事に参加できなくなる人も増え、世代間交流や近所づきあいが減ってきています。

■5年間の具体的な取組

- ◎「健康づくりマップ」を活用し、万歩計を使って歩くことの習慣づけや誰でも参加できるスポーツイベントの開催などにより健康づくりに取り組みます。
- ◎サロンへの参加等による孤立防止、頭を使うゲームなどによる認知症予防に取り組めます。
- ◎大人も子供も積極的に挨拶を行い、異なる世代との交流の機会を通じて、顔がわかる関係を作ります。

目標2

子育て世代が、地域とつながり安心して子育てができるまちづくり



■現状の良いところ・課題

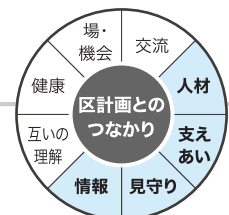
健民運動会など、地域のイベントではいろんな世代の住民が楽しく参加することができ、スポット的な居場所も多くあります。その反面、参加する人が限られていることなどから、参加しやすい形態での開催や必要な人に情報が十分に行き渡る工夫を進めていく必要があります。

■5年間の具体的な取組

- ◎「子育てサークル」や「ふらっとるーむ」の活動を活発化していくとともに、高齢者の集まりにも子育て世代が参加するなど世代間の交流を進めていきます。
- ◎イベント開催をする際には、計画の段階から若い世代に協力を呼びかけていきます。
- ◎いつでもだれでも容易に地域情報の入手ができるよう情報の発信方法を工夫します。

目標3

災害時も安心できるまちづくり



■現状の良いところ・課題

治安がよく防犯パトロールや見守り活動がよく行われています。様々な世代の人が、災害時に対して不安を感じ、近所同士の支えあいやさらなる交流を持ちたいと考えています。

■5年間の具体的な取組

- ◎災害発生時に、早期に安否確認できる方法や、手助けが必要な人に支援が届く仕組みづくりを検討していきます。
- ◎防災訓練を通して、学校、地域ケアプラザ、地区センターなど関係機関との連携を深め、若い世代にも訓練に積極的に参加してもらえるよう工夫をしていきます。